

第2回審議における主な論点等について（案）

1. 区分について

- ・ 現行の判断基準では、自動車の種別（軽／軽量／中量）、変速方式（MT／AT）、構造（A／B1／B2）、燃料（ガソリン／ディーゼル）及び車両重量で全77の区分ごとに基準値を設定しているが、燃費・排出ガス性能や市場でのシェア等を勘案し、現在の区分を見直す必要がないか検討する。

2. 燃費基準値・目標年度について

- ・ 次期判断基準の策定に当たっては、今後どのような燃費向上技術がどの程度普及するかを適切に評価した上で、可能な限り高い基準となるよう、これらの評価結果を適切に反映する。
- ・ 目標年度は、燃費改善に向けた開発のための期間を十分に確保する観点から、小型貨物自動車のモデルチェンジのサイクルを考慮して、適切な期間を設定する。

3. 今後のスケジュール（案）について

- ・ 6月27日（金）：第2回合同会議（区分、燃費基準、目標年度、取りまとめ案）
- ・ 7月～9月頃：パブリックコメント（30日以上）
：WTO／TBT通報（60日以上）
- ・ 10月頃：取りまとめ予定（必要に応じ合同会議開催）